

COVID ワクチンを絶対視して、反対する人々に処罰を要求する理由は何か？

Greatchain
2020/18/13

わが国は、このような不気味な雰囲気とは、無縁であることを願う。国の政策がすでに決まっているワクチンとは、どういうものか？ なぜ、表題の、この怪しく恐ろしいものが、全く問題にならず素通りされるのか？ これは明らかに、人々の命と大犯罪にかかわる可能性のある問題である。曖昧にすることはできない。当然ながらこれは、コロナウィルス・ワクチンの安全性と効果について、納得できるまで説明されるべき問題である。

これは、誰かを糾弾しようとして書いているのではなく、現実には事情がよくわからず曖昧で、不安を拭えないので書いている。

昨日 8 月 13 日の NeonNettle に、こういう記事が掲載されている：――

ビル・ゲイツ：トランプはワクチン懐疑論者だ—マイクロソフト創設者が、ワクチン接種に関する懸念を述べる、大統領を激しく叩く



ビル・ゲイツが、トランプは「ワクチンについて知らない」と言っている

億万長者でコロナウィルス熱狂信者のビル・ゲイツが、ドナルド・トランプをこき下ろし、大統領は「ワクチンのことを知らないのだ」と言った。

マイクロソフト共同創設者ゲイツは、最近のインタビューで、トランプ大統領はワクチンを疑っており、「ワクチンを憎み、それについて馬鹿げた考えをまき散らす」人々に会わせようとした、と言った。

ゲイツは、雑誌 WIRED に対し、トランプは、有名なワクチン批判者のロバート・F・ケネディ Jr. に会うことを勧めた、と言った。・・・

コロナウィルス・ワクチンのみならず、ワクチンそのものを疑う理由は、いくらでもあるはずである。トランプが「ワクチン懐疑者」だからと言って、驚くような話ではなく、ワクチンはその効用が、完全に解明されたものでもないだろう。

その前日には、このような記事が載っている：――

厚生役人たちが、COVID ワクチンを拒否する人々の「処罰」を要求する――宗教的または個人的な反対を許すな：ワクチン接種を拒否する者を処罰せよ



Dr. Michael Lederman は、ワクチン接種の強制を要求する医師団の一人である

医師団グループが、政府は、COVID-19 ワクチンを拒否する人々を「処罰」する計画をまとめよ、と要求した。

「コロナウィルス・ワクチンは強制的でなければならない」、と厚生関係の役人たちが、木曜日、USA Today に意見を述べた。

この医師たちの主張では、保険金よりも高額の追徴税と、多くの政府や私的サービスの停止が、ワクチンの拒否者には、適用されるべきだと言っている。

このグループは、公衆に対して注射を強制することは、現実に「愛国的な行為」だと主張する。

「コロナウィルスを敗北させるのに、必要な手段を取ることは、苛酷なように見え、ある人々には、反アメリカ的とさえ思われるかもしれないが、我々は、それ以外に方法はないと信じている」と、マイケル・レーダーマン、マックスウェル・J・メールマン、および、スチュアート・ヤングナーの3博士は書いている。

「簡単に言えば、ワクチン接種を行うことは、我々の愛国的義務任になりつつある。」

「ワクチンによって誘発される群衆免疫しか、パンデミックにおいては方法がない」と、彼らは論じた。

「民衆の間の免疫化によって、幅広く免疫を誘発させることが、このパンデミックを終結させるのに必要なのだ。」

この文章の後、かなり長くこの記事は続くが、ポイントはここにあるようである。これは、国民一斉ワクチンの歩調が、少しでも乱れれば、すべてが失敗に帰するかのよう言う、ビル・ゲイツの考えと一致している。

これは生物兵器として、人間の霊的能力（一種の病気）を抑制するための、免疫発生の研究と似ているように思える。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/200803.pdf> を見よ。

「それしか方法がない」とは、病気への効力について、医者が普通言うことでなく、断定的な、破壊的な意志をもつ者の言うことである。

もう一つ、プーチン大統領に関する記事がある。RT: July 20, 2020——

クレムリンが米のデマに冷水をかける：プーチンは「エリート」の Covid-19 ワクチンを受けていないし、免疫にもなっていない



ウラジミール・プーチン大統領は、国内のコロナウィルス・ワクチンを受けていないと、ドミートリ・ペスコフ報道官は言った。これは、ある匿名のソースが、このエリート指導者が、4月から、それを受けていたという主張をしていたのを、覆すものである。

ペスコフは、記者団に対し、大統領はこの実験的処方を、与えられていないと説明し、それは「国の首長が、まだ効力不明のワクチンを受けることは、感心したことでない」からだと言った。この報道官自身は、5月に Covid-19 と診断され、ワクチンを受けている。・・・

これは、ロシアの重要人物のほとんどが、Covid-19 ワクチンを、密かに与えられているという「ブルームバーグ・ニュース」が、出所不明のデマだったことを示すもののようである。これは、ビル・ゲイツ製品の権威を高め、かつ、ロシアを従属国として貶めることが狙いだったと思われる。

関連 RT 記事：「Covid-19 ワクチンが最終テスト段階に入るにつれ、ロシアは、集団免疫化計画の世界最初の国家になりうる」

関連 RT 記事：「Covid-19 ワクチンがほとんど完成し、ロシアは今、子供のための特別バージョン製作を考えている」

しかし、この浮かれた調子も、クレムリン内部から批判されていることが、昨日（8月14日、NeonNettle）のニュースでわかった：——

ロシアのトップ医師が辞任、COVID ワクチンを急ぐための「重大な違法」を非難——Alexander Chuchalin 教授は、政府は、医療倫理に違反していると指摘



ロシアのトップ呼吸器ドクターが、ロシア政府は、COVID-19 ワクチンを急ぐあまりに、医療倫理への一連の「違反行為」をしていると非難して、辞任した。

アレクサンデル・チュチャーリン教授は、プーチンのコロナウィルス注射が、まだ用意できていないという懸念から、ロシア厚生省倫理評議会から、センセーショナルに辞任した。

チュチャーリン教授は、評議会がその辞任を承認するに先立ち、「スプートニクV」と呼ばれる新しい薬を、激しく攻撃した。・・・

このニュースは、このワクチンについての西洋の専門家の間での、深い疑念から起こったものである。・・・

このような事件の当否を問うことはできないが、米露どちらの当事者にせよ、結論に慎重を期すべきは当然のことで、治療法や医薬は、意図的に毒として使われるのでない限り、これを機械的に、絶対的な「これしかない」結論として、生きた人間に用いるべきでないことは、常識からしてもわかることである。

——以上